



IARS 異常症（遺伝病）による 虚弱子牛の発生を防ぎましょう！



IARS 異常症（遺伝病）とは

- ・牛の遺伝子（IARS）異常により発生します。
- ・この遺伝病は、虚弱子牛の約3割を占めると言われていますが、適正な交配により予防できます！

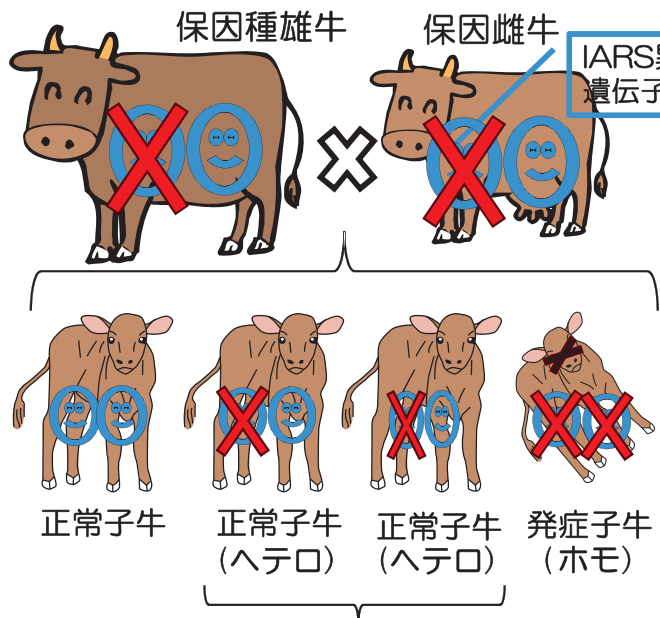


有効な治療法はなく、遺伝子型検査により正常牛、保因牛（ヘテロ）及び異常牛（ホモ）が明確に区別でき、この異常症は遺伝子をホモで持つもののみ発症します。

＜IARS 異常症の主な症状＞

- ・出生時の低体重（概ね20kg以下）
- ・起立困難
- ・自力哺乳が困難
 - ・虚弱で下痢・肺炎に感染しやすい
 - ・発育遅延
- ・生後6週間以内に約8割が死亡

保因牛（ヘテロ）同士の交配をすると・・・
1/4の確率で発症します

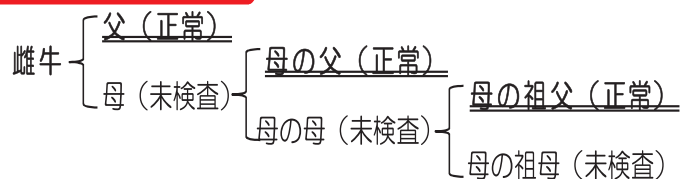


見かけは正常だが、保因牛であり次世代へ伝わる

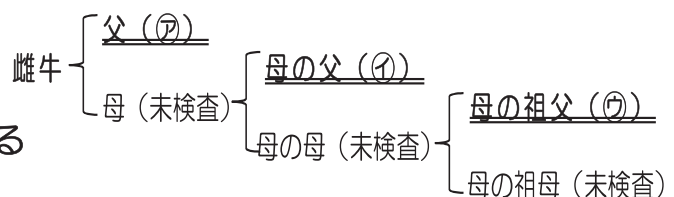
「IARS異常症保因と思われる雌牛」とはどのような牛ですか？

- ・登録証明書に記載されている1～3代祖の種雄牛について保因の有無を確認します。
- ・但し、4代祖以前に保因種雄牛をもつ場合でも発症する可能性あり

「正常と思われる雌牛」：3代祖すべてに正常種雄牛をもつ雌牛です



「保因の可能性のある雌牛」：3代祖（㊦，㊩，㊨）のいずれか又は複数に保因種雄牛をもつ雌牛です。



＜交配組み合わせの原則＞

- ①原則として、正常種雄牛（IARS異常症遺伝子を保有しない）を交配する。
- ②保因の可能性のある雌牛と保因種雄牛の交配は避ける。

